

令和4年度第3回安城市農業振興協議会 議事録

令和4年11月14日（月）

午後2時から

市役所本庁舎3階第10会議室

事務局：ただ今から、令和4年度第3回安城市農業振興協議会を開会いたします。それでははじめに、会長であります、林 茂樹様より、ごあいさつをいただきたいと思っております。林会長、よろしくお願いいたします。

林会長：あいさつ

事務局：ありがとうございました。さて、本日の会議であります。杉浦委員におかれましては、他の用務があるためご欠席されております。また、明治用土地改良区・岩井委員の代理として、同財務課長の植村様に、農業改良普及課・鬼頭委員の代理として、同課長補佐の片岡様にご出席いただいておりますので、よろしくお願いいたします。出席委員の数について、本協議会規則第3条に定める要件を充たしますので、本日の協議会は成立することをご報告します。なお、本協議会の議長は、本協議会規則第3条において会長が務めることとなっておりますので、林会長に議長をお願いいたします。それでは、林会長、議事の取り回しをお願いいたします。

林会長：それでは、まず、「議題1 第3次食料・農業・交流基本計画案」について、事務局より説明願います。

事務局：説明

林会長：ただいま説明がありました、「議題1 第3次食料・農業・交流基本計画案」について、ご意見などがございましたらご発言願います。

杓名委員：食料自給率について、現状が31%で目標が36%という説明がありましたが、国の示すカロリーベースの食料自給率とは違うということですか。

事務局：まずもって、国は食料自給率をカロリーベースと生産額ベースの2通り示しています。国のカロリーベース食料自給率は、平成30年度は37%で、それを45%にするという目標となっております。また、生産額ベースの食料自給率は、平成30年度は66%で、それを75%にするという目標となっております。今回の安城市の計画では、生産額ベースで算出することとしています。国の値と比べて低くなっているのは、市町村別の生産額は農林水産省が公表している、愛知県全体の産出額を作付面積で按分した推計値しか公表されておらず、推計値を用いていること及び国は漁業なども含むのに対し、安城市では農業算出額のみとなることなどから、国に比べ

て低くなっています。

杳名委員：国の目標より低くなることに違和感があり、わかりにくかったので質問しました。

事務局：いろいろな計算方法がある中で、次期計画では、生産額ベースで算出する食料自給率を基準に進めていきたいと考えています。

古居委員：資料1のP14で、従事者の年齢が70歳以上というのは、実際にそうだなと思いました。でも、私の周りには皆さんは元気に農業をされているので、年齢にあったやり方で農業を継続できると良いのではないかと思います。また、P32の水源涵養林の保全ですが、私たちの団体では、市民の皆さんからご寄付をいただき、根羽村に山を購入しました。山の保全は大切だと思いますので、今後も市として考えて欲しいと思います。

さらに、P46のデンパーク近くの交流拠点施設ですが、これはどういう形で進められるのかは分かりませんが、農業の魅力を伝えられるものになると良いと思います。名古屋市の友人はデンパークの年間パスポートを持っています。デンパークの魅力を尋ねると、年中違った花が咲いているのが良いとのことでした。また、ハムやソーセージも好きだそうです。こうしたデンパークの魅力をもっと発信するとともに、自分で土を触って作物をつくる体験ができる場所になると良いと思います。

事務局：水源の保全とともに、山があるから水が供給されるということを教育していくことも大切だと考えております。また、交流拠点は、農業の魅力発信や農業体験につながるようなものとなるよう検討してまいります。

会長：ほかにご意見はありますか。無いようであれば、中村麻理委員よりご意見をいただきたいと思います。

中村委員：本計画案全体を拝見しまして思いましたことを4つほどお話ししたいと思います。1点目は、SDGsとの関連性が位置づけられたことです。持続可能性が求められる時代ですので、これはとても良いと感じています。2点目は、今回から、食育推進計画がこの計画に内包されており、これも安城市らしくて良いのではないかと感じました。安城市の食育は、農業を大切にするような方向で展開されていますので、単独で食育推進というよりも、一体化した計画としたことは、食育にとっても良いことではないかと感じています。続いて3点目です。私はここ10年ほど安城市の食育や農業を研究させていただいておりますが、市民の皆様もすばらしくて安城が大好きになっています。課題となるのは、次世代にどう繋いでいくかということだと感じています。この計画でも、この点を扱っているので、今後の展開に期待したいと思います。最後は、めざす姿として日本デンパークの継承を掲げられたことは素晴らしいと感じています。私は小学生

時代を名古屋市で過ごしましたが、当時から学校では日本デンマークというのが愛知県にあり、それは安城市だということを教えられていました。そのため、安城市は素敵なのだと思います。今の子どもたちが日本デンマークということを学ぶ機会は、かつてよりも少なくなっていると思いますので、そういう機会を増やし、安城市や愛知県の子どもたちが日本デンマークに誇りを持てるようにしていくことが、次世代への継承の面でも重要なことではないかと思います。以上です。

会長：ありがとうございます。では、修正等は事務局に一任するというので、第3次安城市食料・農業・交流基本計画案を了承することにご異議ございませんでしょうか。

委員：異議なし

会長：異議なしと認めます。よって本議題は了承されました。続きまして、「議題2 安城市農業賞各部門の選考等」について、事務局より説明願います。

事務局：説明

会長：ただいま説明がありました、「議題2 安城市農業賞各部門の選考等」について、ご意見などがございましたらご発言願います。

(委員から質問なし)

会長：それでは、各賞の受賞者にご異議ございませんか。

委員：異議なし

会長：異議なしと認めます。よって、本議題は承認されました。以上で議題についての審議は終了となります。皆様、ご協力ありがとうございました。

事務局：林会長、ありがとうございました。それでは、「その他」について、事務局より説明いたします。

事務局：説明

事務局：これをもちまして、第3回安城市農業振興協議会を終了いたします。ありがとうございます。